



ジャガー・ルクルトが「メイド・オブ・メーカーズ」を発表

類まれな才能と創造性のコミュニティ

「メイド・オブ・メーカーズ」は、時計製造、職人技、アートの中に昔から存在する対話を拡大し、創造性、専門性、精度といったジャガー・ルクルトを常に定義してきた基本原則を掘り下げて表現します。このプログラムは、ジャガー・ルクルトの価値観を共有し、様々に異なる、時には予期せぬ素材や媒体を通じて表現の新しい形を探求する作品作りをしている国際的なアーティストたちにフォーカスし、創造力を働かせて自らの手で作業を行う彼らに大いなる敬意を払います。

メーカーズとは？彼らは今日のクリエイターであり、未来を形成する人々です。ジャガー・ルクルトにおいては熟練の時計職人たちであり、他の分野におけるデザイナーやシェフ、ビジュアルアーティスト、ミュージシャンなどです。選ばれたコラボレーションパートナーは全員、大きな理想を抱き、自分たちの分野において新たな方向へ向かっている点が顕著ですが、彼らはジャガー・ルクルトの時計職人たちが創造性の土台となっている過去に対して深く敬意を払っている姿勢を共有しています。そのため、「メイド・オブ・メーカーズ」は、過去と未来の架け橋を作ることの重要性を強調し、制作されたもの、作り方、制作者を称えます。

「ジャガー・ルクルトの創業者であるアントワーヌ・ルクルトの精神において、マニファクチュールの原動力はいつも革新的であり、限界を押し広げるという信念に突き動かされています。この信念は、オープンマインドに欠かせません。ジャガー・ルクルトは『メイド・オブ・メーカーズ』を通じて、時計製造、アート、その他のクリエイティブな分野における技量が有益な体験に価値をもたらす方法を様々な視点から探求しています。」と、ジャガー・ルクルト **CEO**、カトリーヌ・レニエは述べます。「これが、進歩的な考え方のアーティストや想像力に富んだ職人たちとジャガー・ルクルトがコラボレーションする理由であり、彼らの作品によって 私たちの感覚は鋭くなり、マインドが拡大し、激しい感情が沸き上がります。ジャガー・ルクルトは新しい作品を依頼することによって彼らをサポートし、彼らの作品がジャガー・ルクルトの創造性と絶え間ない進化の糧となります。」

ジャガー・ルクルトから依頼を受けたアーティストは全員、スイスのジュウ渓谷にあるマニファクチュールを訪問します。そこで彼らは、風景の自然な美しさに目を奪われ、時計職人やメティエ・ラール®工房の職人たちと時間を過ごし、後に彼らの作品の特徴となるであろうインスピレーションを得ます。



すべてのコラボレーションの根底には、築かれた深い人間関係と、クリエイティブなプロセスにおけるクラフツマンシップの重要な役割に対する敬意の共有があります。芸術的なイマジネーションや職人技の様々な表現をもたらすインスピレーションが交差する「メイド・オブ・メーカーズ」は、絶え間なく変化する私たちの世界の様々な見方を提案し、オブジェクトを見たときの第一印象にとどまらない様々な対話を促し、新たなつながり方を観客に提供します。

文化的な対話の拡大

ここ数年にわたり、ジャガー・ルクルトは、時計製造以外の様々な分野のアーティストや職人とコラボレーションしてきました。そして、同じような価値観や創造的なビジョンを持つクリエイターのコミュニティを築き、多様な観客との新たな対話を起こしています。

2022年、ジャガー・ルクルトはマルチメディアアーティストのギヨーム・マルマン、レタリングアーティストのアレックス・トロシュート、ミクソロジスト（バーテンダー）のマティアス・ジルーと新たにコラボレーションし、各分野にまたがってインスピレーション溢れる交流を広げ、長きにわたる関係を育むことを目的に、「メイド・オブ・メーカーズ」プログラムのもとにコミュニティを統合します。

ギヨーム・マルマン - 宇宙を呼び起こす

2022年、フランスのマルチメディアアーティストのギヨーム・マルマンは、ジャガー・ルクルトのために新しいインスタレーション『Passengers : *Through Time*』を制作し、ステラー・オデッセイのテーマを深淵で刺激的な方法で表現しました。それは、目に見えないものの美しさや物理法則を想起させます。このインスタレーションは、光、音、動きの複雑で刺激的な相互作用によって、ビジターたちを彼らが主役となる星への旅に誘う作品です。これまでの彫刻や空間、時間の概念を新たに定義するこの作品は宇宙の広大さを捉えており、時間とは何かという根源的な問題について考えさせられます。

マティアス・ジルー - 天空の錬金術

アヴァンギャルドなアプローチで知られるマティアス・ジルーは、新世代のミクソロジストのリーダーです。彼は、料理長、調香師、ビジュアルアーティストの技能を融合し、ミクソロジーをとときには錬金術のような芸術の域へ押し上げます。香りやフレーバーに加えて、温度や口当たり、色、形にもこだわった彼の作品は、芸術的な感性と専門技術、そして細部へのこだわりのバランスが絶妙です。彼は、魅惑に満ちた夜空、天文時計製造の複雑さ、ジュウ溪谷の自然の恵みからインスピレーションを得て、ジャガー・ルクルトのために計時の原点となった天体にオマージュを捧げるソフトカクテルのメニューを創作しました。



アレックス・トロシュート - 文字が言葉を必要としないとき

ニューヨーク在住のレタリングアーティストのアレックス・トロシュートは、ジャガー・ルクルトの新たなシグネチャーとなる新しいアルファベットにジャガー・ルクルトの価値観を表現しました。文字のデザインを「書記媒体における非言語的コミュニケーション」と考えるトロシュートは、レベルソが誕生した 1920 年代および 30 年代の進歩的で前向きな考え方の価値を表現したスタイルであるアールデコから新しい 1931 アルファベットのインスピレーションを得ました。新しく大胆で現代的な 1931 アルファベットは、彫刻のような性質と力強い視覚的奥行きがあり、同時にダイナミズムや躍動感を伝えています。

ニーナ・メタイエ - フォルムとフレーバーの限界を押し広げる

独創性、芸術性、卓越した味わいが高い評価を得ているフランスのパティシエ、ニーナ・メタイエは、伝統的なパティスリーの技を新たな領域へ広げ、独特な芸術形式へ昇華させました。彼女はジャガー・ルクルトのカフェ 1931 のために、非常に美味しく、見た目も美しいペストリーのスペシャルメニューを作成しました。ジュウ溪谷を思い起こさせるフレーバーに不朽のアールデコのエレガントなフォルムが組み合わせられた、見る人を楽しませてくれる傑作です。

マイケル・マーフィー - 知覚と戯れる

アメリカ人アーティストのマイケル・マーフィーは、自身のインスタレーションを「3次元空間での画像の錯覚」と説明しており、その作品を存分に鑑賞するためには、位置を変えながら見る必要があります。見る者が移動すると、彼らの知覚も変わります。レベルソ誕生 90 周年を記念するジャガー・ルクルトのために、彼は空間の 3次元と 4番目の次元である時間との関係性を探求する『Spacetime (時空)』を制作しました。

ザイムーン - 自然の音を称える

スイスのマルチメディアアーティストのザイムーンは、シンプルな素材や工業部品を再利用しながら、これまでの彫刻や空間、時間の概念を新たに定義する、複雑な音と動きを生み出すタペストリーを制作します。ジャガー・ルクルトのために彼が制作したインスタレーション『サウンドメーカー』は、マニファクチュールの時計職人が彼らを取り巻くジュウ溪谷の自然の音の風景と深く結ばれていることを思い起こさせます。

毎年、依頼制作された作品は、ジャガー・ルクルトが世界中で開催する展覧会を盛り上げ、ジャガー・ルクルトとの関わりを深め、アートや技巧、デザインに関する幅広い会話に加わる新しい機会を観客に提供します。

「すべての芸術は、世界に対するアーティストや職人の見方がきっかけとなって起こるコミュニケーションの形式であり、ある作品に対する観客の反応は非常に個人的なものである一方で、コミュニケーションの本質の一部です。」とカトリーヌ・レニエは述べています。「『メイド・オブ・



メーカーズ』プログラムは、私たちにとってもアーティストにとっても、多くの様々な観客とつながる方法です。また、観客にとっても私たちと様々なレベルでつながり、新しく、恐らく意外な対話が始まり、様々な感覚を通じて世界を体験できる方法です。」

「メイド・オブ・メーカーズ」について

2022年から始動した「メイド・オブ・メーカーズ」プログラムは、時計製造以外の様々な分野のアーティスト、デザイナー、職人たちのコミュニティを一つにまとめます。時計製造とアートの中に存在する対話を拡大するこのプログラムは、創造性、専門性、精度といったジャガー・ルクルトを常に定義してきた基本原則を土台としています。このプログラムは、ジャガー・ルクルトの価値を共有し、様々な異なる、時には予期せぬ素材や媒体を通じて、表現の新しい形を探求する作品作りをしているワールドクラスのクリエイターたちにフォーカスしています。毎年、プログラムを通じて制作される新作は、ジャガー・ルクルトが世界中で開催する展覧会を盛り上げ、選ばれたテーマを発展させ、ジャガー・ルクルトとの関わりを深めたり、アートや技巧、デザインに関する幅広い会話に加わる新しい機会を観客に提供します。

jaeger-lecoultre.com